公益社団法人　隊友会　https://www.taiyukai.or.jp/

隊友

令和7年4月15日
第852号　毎月1回・15日発行

発行所　公益社団法人 隊友会本部
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5番1号
電話　03 (5362) 4871・FAX4876
購読料　1カ月 120円（税込み送料付）、1カ年 1,700円（税込み送料共）
kouhou@taiyukai.or.jp

隊友 web版

新聞広告を募集します
広告掲載ご希望の法人、個人の方は隊友会事務局広報課までご連絡ください。
03-5362-4874
kouhou@taiyukai.or.jp

防衛省が隊友会及び自衛隊家族会と協定を締結

「家族支援に対する関係団体との協力に関する協定」

左から増田自衛隊家族会会長、中谷防衛大臣、岩崎理事長

中谷防衛大臣は、3月14日、岩崎隊友会理事長及び増田自衛隊家族会会長と「家族支援に対する関係団体との協力に関する協定」を締結した。本協定は大規模災害時における派遣部隊隊員家族の安否確認や家族の生活支援を実施するもので、原則として部隊からの協力要請に基づき隊員家族の安否確認や家族の生活支援を実施する。

協定締結は、防衛省内閣、岩崎茂隊友会理事長及び増田浩平自衛隊家族会会長がそれぞれ協定書に署名した。

中谷大臣は締結後「今般の協定は、防衛大臣が直接、自衛隊家族会及び隊友会の代表者と締結するもので、支援の対象を陸海空各自衛隊の隊員のみならず、防衛省・自衛隊の全ての機関、全ての自衛隊員に広げるものです。大規模自然災害を例に見れば、かけがえのない家族を残し、被災地で災害派遣活動に従事する自衛隊員、避難所生活を余儀なくされる中で任務に向かう隊員を送り出す隊員家族の不安は計り知れません。防衛省・自衛隊にとって隊員家族とは、我が国を支える最も重要な存在であり、防衛力の中核たる隊員を身身的に支え続けるかけがえのない存在です。そのような意味で、隊員家族は防衛力を発揮して初めて真価を発揮します。自衛隊の隊員が100パーセントの任務が完遂できるような環境を作っていきたい」と述べた。

（写真は防衛省提供）

隊友会が後援

全自剣道大会が開催

隊友会が後援する第50回全自衛隊剣道大会が2月22、23の両日、自衛隊体育学校三宅記念体育館で開催された。大会における隊友会理事長賞は優秀個人賞として、松野智也選手（富士学校）、久保楓花選手（北熊本）及び久松聖弘選手（1普連）の3名に贈られた。

競技は男子団体戦73個チーム、女子団体戦の優勝は伊丹・高知・豊川チーム、女子団体戦16個チーム、男子混成チーム、準優勝は練馬、第3位は空教隊と大湊・八戸・横須賀混成チーム。

男子団体戦の優勝は北熊本A、準優勝に国分A、久松聖弘選手（5段以下）第3位は別府A と武山A＝1普連、中村愛生選手（女子＝別府）がそれぞれ優勝した。

結果の詳細は、主催の全国自衛隊剣道連盟ホームページ（ウラ元コード）で。

団体戦決勝戦　北熊本A vs 国分A

第9回アジア冬季競技大会

金×2　銀×1

2月7日から14日までの7日間、中国・ハルビンで開催されたアジア冬季競技大会に、自衛隊体育学校及び第5普通科連隊（青森）から、バイアスロンとクロスカントリー2競技に11名が出場し、3種目3個のメダルを獲得した。

なお、惜しくもバイアスロンの女子チームは4位だった。

成績は次のとおり

○金：バイアスロン男子7・5キロ4クリーレー
小島清雅陸士長、立崎幹人1陸尉、山本大晴2陸曹、枝木司2陸曹（5普連）

○金：クロスカントリー7・5キロ4クリーレー
山下陽輝2陸曹、森口翔太2陸曹（他の選手は民間選手）

○銀：クロスカントリー7・5キロ4名クリーレー
山下陽輝2陸曹（5普連）

優勝後のガッツポーズ
左から小島士長、立崎1尉、山本2曹、枝木2曹

山下2曹

森口2曹

理事長賞
右から松野選手、久保選手、久松選手

◇解説

平成4年、自衛隊がカンボジアPKOとして派遣されて以来、隊員家族との連絡等は各部隊が主体となって実施されてきた。しかしながら平成23年の東日本大震災に際し、東北方面隊の多くの部隊では災害派遣中の隊員家族に対する支援の余裕がほとんどなかった。

これを教訓として陸上自衛隊は部外団体に対して隊員家族の支援に対し協力を求め、自衛隊父兄会（現自衛隊家族会）は平成23年、モデルケースとして大宮及び福岡駐屯地と自衛隊父兄会支部との調整を開始、その後個別の協定を拡大していった。

平成29年4月、本協定に隊友会が参加し、隊友会及び自衛隊家族会は「家族支援に対する協力」を定款に追加し、平成29年5月、陸自は隊友会、自衛隊家族会との3者の間で中央協定を締結、令和元年6月には海自と令和4年7月には空自と中央協定を締結した。今回の防衛省との協定は、陸海空との協定では漏れていた機関も含めた協定として大きな意義を持つ。

隊友会令和７年度事業開始

隊友会は3月26日、定例理事会を開催し、「令和7年度事業計画」を決議した。年度事業計画は「国民と自衛隊とのかけ橋」という隊友会の目的を達成するための、方針、実施要領及び主要業務事項並びに主要な事業予定を示すものであり、作成に当たっては、各県隊友会に事業計画案を意見照会し、本部と各県隊友会が一体となり作成している。

7年度は、厳しい募集環境を踏まえた地本と連携した募集協力、年度末に締結した「家族支援に対する関係団体との協力に関する協定」に基づく隊員家族支援に積極的に協力するなどが新たに盛り込まれた。また、防災ボランティア活動等を行う際は、努めて隊友会ベスト等を着用する旨などが示された。

定例理事会の状況

訂正とお詫び
3月号（851号）の1面「護衛艦「あさひ」が出国」の記事中、自衛艦隊司令官からの訓示の代読を「自衛艦隊司令部幕僚長」とあるのは、「護衛艦隊司令部幕僚長」の誤りでした。また、「昨年6月に呉から出航した『さみだれ』と交代する」とあるのは「昨年10月「横須賀から出港した『むらさめ』と交代する」の誤りでした。お詫びし訂正いたします。

隊友会寄付者芳名

滋賀県特別会員
奥村直広　様　5千円
陸上自衛隊
末吉洋明　様　2万円
山根秀一　様　2万円
海上自衛隊
伊藤　弘　様　2万円
航空自衛隊
志津　雅春　様　1万円
（順不同、三月二十一日現在）

発煙筒

自衛官の処遇を考える

（理事　岩谷　夢）

自衛隊は今歴史的な募集難を迎えています。昨年度の自衛官採用数は、募集目標に対して約5割減の成果しかありませんでした。その中身は今までにない総合一体化した改善策であり、両期的に進化したものです。しかしながら、本方針が具体化・実現されても歴史的な募集難が解決されるとは決して思えません。例えば、自衛官の再就職支援は若年定年制の下で強化・拡充するものの、民間頼みであり最後は自助努力です。一般社会においては「高齢者雇用安定法」に基づき、本年4月から65歳までの雇用が義務化され、70歳までの就業確保が努力義務として課されることになります。このため、定年後の生活安定に関し一般社会との格差が生じることから、自衛官は将来に不安を抱えることとなり、募集に悪影響を及ぼすことも否定できません。

この課題を解決するためには、「精強性を維持しつつ若年定年制を見直す」という隊友会の目的に基づく施策が必要であり、自衛隊の精強性確保の問題から見送られたと思いますが、毎年3000人～4000人現員が減少し自衛隊の組織的な活動を制限していく現状を考えると、隊員個人の精強性確保より組織的活動の精強性確保を重視した施策も有力な一案だと思います。もちろん、人事制度の運用等により高齢な隊員を後方や教育要員等として配置するとともに、自衛官定数を増員することが絶対の条件となります。

いずれにしても募集対策案として過去防衛省内で議論があり、自衛隊の精強性確保の問題から見送られたと思いますが、毎年3000人～4000人現員が減少し自衛隊の組織的な活動を制限していく現状を考えると、隊員個人の精強性確保より組織的活動の精強性確保を重視した施策も有力な一案だと思います。もちろん、人事制度の運用等により高齢な隊員を後方や教育要員等として配置するとともに、自衛官定数を増員することが絶対の条件となります。

いずれにしても募集対策案、現職自衛官にとって自衛官の将来への不安を解消することは自衛官の処遇を魅力化する重要な要素であり、歴史的な募集難を克服する一歩となるのではないでしょうか。

身分を設け、定年を迎えた段階で新たな身分に移行し、整備・補給等補給処業務、教育・助教等学校業務、研究開発及び地方隊力本部業務等を担ってもらうものです。これは第一線に集中配置し精強性を確保するとともに、優秀な予備自衛官を確保し有事の対応を確実にすることができます。次に定年延長も一つの案です。これは若年定年制を廃止する

三菱重工
三菱重工業株式会社　www.mhi.com/jp
MOVE THE WORLD FORWARD　MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP